



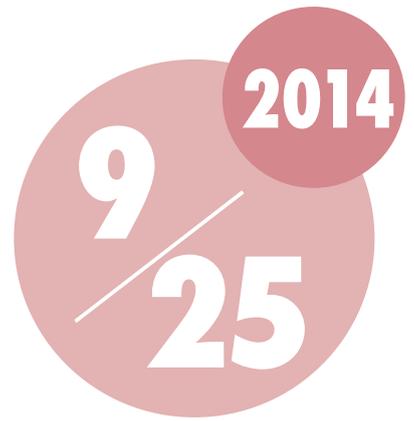
広報

もりや

おしらせ版

<http://www.city.moriya.ibaraki.jp/>

Public Information MORIYA



「若年性認知症」ってなんだろう？

●申込・問合せ先 市地域包括支援センター ☎ 45-1744 (直通)

「認知症」というと、高齢者の病気と思われがちですが、推定発症年齢の平均は、51.3歳±9.8歳です。40歳代で発症することもあります。64歳以下で発症した場合を「若年性認知症」といいます。判断力が低下したり、手順を踏んだ作業をすることが難しくなったり、今いる場所や時間が分からなくなることがあり、生活に支障をきたします。若年性認知症の場合、多くの人が現役で仕事や家事をしています。診断や治療が遅れてしまうのは、不調があっても認知症であると結びつかないためです【認知症介護研究・研修(大府)センター「若年性認知症ってなんだろう」から抜粋】

もの忘れが気になってきたり、認知症かも、と思ったら、以下の相談窓口へご相談ください。

○近隣の認知症疾患医療センター

認知症についての専門医療相談、鑑別診断や治療、関係機関との連携などを行う医療機関です(受診時要予約)。

- 筑波大学附属病院 (つくば市天久保 2-1-1)
☎ 029-853-3645
- 宮本病院 (稲敷市幸田 1247) ☎ 0299-94-3080

○若年性認知症コールセンター

☎ 0800-100-2707

利用日時：月～土曜日 10:00～15:00

HP <http://y-ninchisyotel.net/>

○公益社団法人 認知症の人と家族の会

☎ 029-879-0018

利用日時：月～金曜日 12:00～16:00

※祝日、12月28日～1月5日を除く

○市地域包括支援センター

☎ 45-1744

相談日時：月～金曜日

8:30～17:15

※祝日を除く



「いつもと何か違う」サイン

- 仕事にミスが増える、約束を忘れる、期限までに処理ができなくなる。
- 会話がどこかかみ合わない、的外れな答えが返ってくる。
- 衣服の乱れ、季節に合った服装ができない。
- ちょっと前の確認事項、約束を忘れる。
- 簡単な計算ができなくなる。電話機、コピー、パソコン、ATM等の操作が困難になる。
- ボーっとしている時間が増え、話しかけても生返事しか返ってこない。
- 同じ品物を何回も買ってくる。
- ごみ出し、レジでの順番待ちなど社会的ルールを守れなくなる。
- 道に迷う、行きたい場所に地図を見ても行くことが困難になる。
- 車の運転が危なくなる、車体に傷が増える。(県若年認知症リーフレットから抜粋)

認知症サポーター養成講座

認知症の方やその家族が、自分たちだけで悩みを抱え込まず、地域で孤立しないで生活するためには、周囲の方々の認知症に対する正しい理解が必要です。

あなたも認知症サポーター養成講座を受けて、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者になりませんか？

講座は、友人、サークル仲間等5人以上集まれば、どこへでも講師が出向きます。